

### 第3回 総排泄腔シンポジウム in 大阪・2025 Asian Pediatric Colorectal Course の開催にあたり

謹啓

平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、大阪大学小児成育外科では、この度『第3回総排泄腔シンポジウム in 大阪・2025 Asian Pediatric Colorectal Course』を令和7年3月21日(土)及び22日(日)に大阪大学中之島センターにて開催する運びとなりました。

本シンポジウムは、国立病院機構岡山医療センター小児外科の青山興司先生を中心に、国内の医療関係者が総排泄腔症の理解を深め、治療・管理の改善を目的として、これまでに2回開催され、小児外科医や小児泌尿器科医が集まり学んできました。また、アジアにおいては、昨年台湾で勉強会が開催されました。

今回の『第3回総排泄腔シンポジウム in 大阪・2025 Asian Pediatric Colorectal Course』では、テーマを「総排泄腔手術の最新トレンド」としました。この疾患が稀で、variation が大きいため、標準治療は確立されておらず、今もさまざまな術式や治療が試みられています。今回はゲストとして、米国ボストン小児病院直腸肛門グループのチーム(小児外科医、小児泌尿器科医、専門看護師)をお招きし、国内外の小児外科医、小児泌尿器科医、看護師が共に会して、これまでの手術方法の利点・欠点を振り返りながら、内視鏡技術を取り入れた新しい手術法を学ぶ勉強会を企画しております。

本シンポジウムが、「総排泄腔手術の最新トレンド」を共有し、討論する場となりましたら幸いです。多くの皆様のご参加と演題応募をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。

謹白

2024年9月吉日

第3回総排泄腔シンポジウム in 大阪・2025 Asian Pediatric Colorectal Course

会長 奥山 宏臣 (大阪大学大学院医学研究科 小児成育外科学 教授)